
水樹ボイスなクローン少年タクミ

exajoker

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

水樹ボイスなクローン少年タクミ

【Nコード】

N3883Z

【作者名】

exajoker

【あらすじ】

不幸な事故に巻き込まれた少年は転生する事になったのだが、転生前のお願いに家族と友達の救済と幸せを願った。

それに感心した神が余計な事をした所為で、少年が行った世界はとんでもない変革をしてしまった。

タクミ

「リリカルマジカル……ってあれ？俺がクローンすか！？なんで剣崎一真が……ってなんでユーノの■が！？ええっ、アクセル・アルマー！？あれ？プレシア若くない？何々、僕がお父さんだよってことは従姉妹はあの二人すか！？俺が人間なのは八分の五で、八分の三は吸血鬼だと！！あんたが曾婆さんだと！？

あゝもゝなんてカオス！！！！

プロローグ1

???

「ここ何処さ？」

辺り一面の白い世界にその少年は立っていた。

???

「えーと、たしか俺は滋達とカラオケにいつ「スイマセン、ちょっと良いですか？」えっ、何？」

少年が振り返った先には身長170cmぐらいで長い黒髪をポニーテールにした、スーツ姿の美少年がいた。

???

「あー、これってあれか？今流行りの転生物で、俺は死んで、あんたは神だか天使だかって奴ですか？」

少年は目の前の美少年を見た瞬間全てを理解した。

天使

「はい。あなたのお考えの通り、あなたは既にお亡くなりになっていて、それは実は神のミスで、私はあなたを転生させるために来た天使です。」

天使は微笑みながら少年に応えた。

天使

「時間があまり無いので手早く説明させて頂きます。

あなたは生前に、妹と友達三人でカラオケに行き、その帰り道でトラックの横転事故にあい、その命を亡くしました。

その事故はトラックの運転手が運転中に心臓発作になったのが原因で起こった物で、死亡者は運転手を含めて4人になる予定でしたが、ここでイレギュラーが起きました。」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3883z/>

水樹ボイスなクロン少年タクミ

2011年12月13日04時06分発行